



2018年7月10日発行

公益財団法人仙台 YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町 9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 永沼真理

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



水の安全 ウォーターセーフティーキャンペーン

昨年6月に名取市の海岸で10代の少年2名が、遊泳禁止区域でゴムボートに乗り、沖に流されました。ゴムボートでは戻れず、泳いで海岸に戻ろうとした際、波にさらわれ1人の少年が亡くなりました。現代の子どもたちは、環境が整ったプールで活動する機会が多いですが、自然の河川や海などで遊ぶ機会が減少傾向にあるため、そこに潜む危険性や環境特性への知識が浅く、水場での事故に遭遇するケースがあります。水が冷たいこと、流れが早い場所があること、河床が滑ること、深い場所があることなど、子ども自身が危険な場所を理解(体験)し、心構えを持ちながら遊ぶことで事故を未然に防ぐことが出来ます。

昨年全国では、7月・8月だけでも500件以上の水難事故が発生し、250名近くの尊い命が亡くなったり、行方不明になったりしています。

YMCAは「安全はすべてのものに優先する」「一人の生命は地球より重い」神様から与えられた生命を大切に考え活動してきました。ウォーターセーフティーとは、かけがえのない生命を守り育てることで、YMCAでは、『ウォーターセーフティーキャンペーン』を今年も実施しています。

その1つとして、日本YMCA同盟では、毎年『ウォーターセーフティーハンドブック』を作成し、YMCAの会員はもとより近隣の小学校ならびに仙台市内の新入学児童約9,500名と南三陸町、山元町の新入学児童、富谷市の新入学児童に配布しました。この『ウォーターセーフティーハンドブック』には、海・川に潜んでいる危険なことや、おぼれている人を見つけたときの対処法・突然水の中に落ちてしまったときに命を守る術などが掲載されていますので、子どもだけではなく、家族の皆さんと一緒に読んでいただき確認いただくと幸いです。

YMCAの水泳指導は、安全教育の一環として始められ今日に至っています。これからも、子どもたちが神様から与えられた尊い命を守り育ていけるように、子どもたちと共に活動していきます。もうじき本格的な夏を迎えます。楽しい水遊びが事故に繋がらないように、水場の活動ではお子さまから目を離さずにお過ごしください。

(健康教育事業部 糟谷昌洋)



《ウォーターセーフティーハンドブック》

毎年、仙台市内の小学1年生とYMCAの活動に参加している幼児・小学生・中学生に配布をしています。水場での事故を未然に防ぐため、注意事項や緊急対応などが書かれたハンドブックとなっていますので、ご家族の皆さんでご確認下さい。また全国各地の教育委員会より後援をいただいで発刊しています。

《着衣泳》

毎年、夏休み前にYMCA幼稚園、西中田保育園、南大野田保育園、加茂保育園の園児を対象にYMCAのプールで行っています。服を着たまま突然水の中に落ちると、パニックになりおぼれてしまうことがあります。着衣泳を体験することで、服を着たまま水に入るとどうなるかということを知ることを知りたいとしています。



《スイミングクラス安全講習会》

YMCAスイミングクラスで毎年『ウォーターセーフティーハンドブック』を基に水の安全講習会を実施しています。自分の命を守ることを中心に、おぼれている人を見つけた時の対処法で、大きな声で大人の人を呼ぶことや、助けを求め、決して自ら助けに行かないことを伝えています。

《心肺蘇生法(AED)リーダートレーニング》

夏のリーダートレーニングを通して心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ機会を設け、もし命を左右する場面に遭遇したときに勇気をもって、その人の命を繋ぐ・助ける行動ができる技術と心を持って欲しいと願っています。



仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわがやを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

YMCAと私

南大野田保育園

保護者 高橋 美紀
にじ組 佳太・ぶどう組 里歩



長男3歳、長女1歳がYMCA南大野田保育園に入園したのは、昨年4月。育休を3年取った私は、子どもと離れることを考えると不安で、仕事と育児の両立はできるのだろうか心配でした。

慣らし保育では、園に着くと泣き始める我が子たち。そんな我が子を抱っこして保育士さんに預ける時には、私も後ろ髪を引かれる思いでした。そうした毎日が続き気付けば早3ヶ月。同じクラスや異年齢の子どもたち、そして保育園の職員の方々との関わりを通して、徐々に保育園に慣れ、心身ともに成長している姿が見られるようになりました。外遊びをして汚れた服の山、給食は「完食、おかわり」という連絡帳…。毎日の活動を楽しむ姿が伝わってきて、私自身嬉しく、保育園に預けて良かったと思えるようになりました。

また、お祈りや行事を通して「感謝の気持ち」「思いやり」「命の大切さ」を教えてください、絵本の読み聞かせの時間を大事にしていること、布おむつを使って排泄にも心を配ってくださること、安全性や旬の食材にこだわった給食を提供して下さっているおかげで、子どもたちの健やかな成長を支えてくださることに本当に有り難く感じております。

仕事をしながらの育児は、毎日が忙しく自分自身に余裕がないこともあります。しかし、迎えに行った時には、飛び込んでくるかのように駆け寄り我が子に、心を救われることが何度もありました。仕事に復帰し、保育園に預けたことで、子どもとの時間が本当に貴重であり、幸せであることにも気付かされました。保育園に通い1年経った今、まだまだ甘えたい気持ちが強い我が子たちですが、ありのままを受け止めてサポートしていただき、また個々の良さを大切に温かい言葉掛けをして下さるスタッフの皆様には、心から感謝しております。「みんな違っていい」。子どもたちが自分らしく歩んでいけるよう、これからも成長を見守っていきたく思います。

ボランティア

仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校
ホテル科2年
工藤 光莉・小林明香里



手話ボランティアに参加して

私たちは、6月17日に仙台市シルバーセンターで行われた、本校のホテルレストラン手話の授業を担当している工藤豊先生が主催する「工藤手話企画「ろう文化人講演会～シリーズ3～」」にボランティアとして参加してきました。実際にろう者の方に会い、生の手話の会話を身近で感じてみたい!と思い、この手話ボランティアに参加しました。当日は主に会場の設営、受付、パンフレットの受け渡しを担当しました。この講演にはろう女優で、現在舞台やテレビ「みんなの手話」で講師アシスタントをしている貴田みどりさんが講師として出演されました。

第1部では「私の生い立ち～ろう女優の裏話～」という貴田みどりさんの生い立ちについて手話で話していましたが、「サイレントレクチャー」という日本語音声通訳無しの講演だったため、あまり理解することができませんでした。

ですが、途中から同じボランティアの方がそばで内容を通訳してくださり、わたしたちも少しですが内容を理解できました。通訳してくれた方には、とても感謝しています。貴田みどりさんは生後5か月の時の大手術の後遺症により耳が聞こえなくなったそうです。しかし、体を動かすことが好きだったみどりさんはクラシックバレエやヒップホップ、ジャズなどの幅広いダンスに挑戦したそうです。そのあとオーディションの際にあったことや実際に女優の仕事をして大変だったことや嬉しかったことなどを話していました。

第2部「ダンスの魅力を知ろう!」では、簡単なリズムをとり、体を動かす体験をしました。聞こえなくても目で見て、感じることができ、参加者の方々はとても楽しんでいました。

第3部「トークショー」では、貴田みどりさんに質問したいことをアンケートで募集し、抽選で100名の中から選ばれた10名の方が各々の質問を手話で投げかけました。多くの方がろう者の方でしたが、手話について学んでいる最中の学生の方もいました。質問の後、10名の方は直接貴田みどりさんから直筆サイン色紙をプレゼントされていました。なかには貴田さんとツーショット写真や握手をされていた方もいました!最後に、講演が終わった後、貴田みどりさんからわたしたちも手渡してサイン色紙をいただくことができました!

サイレントレクチャーということで、手話の難しさや、自分がわからない言語にろう者の方々の生活の大変さを身をもって知ることができました。このボランティアをきっかけに手話をより深く学ぼうと思いました。

西中田・南大野田・加茂 3保育園合同着衣泳

6月28日に、西中田保育園、南大野田保育園、加茂保育園合同の着衣泳が行われました。服を着て水に入ること、会ったことのない姉妹園の友だちに会えることを楽しみに当日を迎えました。服を着てプールに入ると重いこと、脱いだ時との違いを知ることができた子どもたち。溺れた人がいたら、必ず周りに助けを求めることをリーダーに教えてもらい、真剣に聞いていました。着衣泳で知ったことを、早速保護者の方に伝えたようです。

着衣泳の後は、3園の交流会をし、どんな遊びが好きか伝え合ったり、ゲームをする等、YMCAには様々な友だちがいることを知り、またキャンプで会うことを約束しました。

(加茂保育園/渡部ルリ子)



ベルマーク運動 - 125,000点寄贈いただきました

6月15日、あいおいニッセイ同和損保株式会社の方々が来館し、ベルマーク125,000点を幼稚園に寄贈してくださいました。あいおいニッセイ同和損保株式会社はベルマーク運動に加盟されている保険会社とのことで保険証券にベルマークがついているそうです。保険証券だけでなく、様々な商品についているベルマーク等を社員の皆様が集めてくださり東日本大震災の被災地支援として教育施設に寄贈されています。

幼稚園では電子ピアノや図鑑などに交換させていただきます。予約済みです。ありがとうございました。

(幼稚園 高橋祐子)



東日本大震災支援対策室活動報告 FC南三陸スポーツ少年団招待 サッカーフェスティバル

6月23日～24日の2日間、FC南三陸スポーツ少年団を招待し、サッカーフェスティバルを行いました。

初日は仙台YMCAサッカークラブジュニアの選手との試合や夕食のカレーづくりでの交流、2日目はYMCAジュニアクラブのすべてのサッカークラスの子と交流試合を行いました。はじめは緊張の面持ちでしたが、さすがは子どもたち。次第に仲良くなっていき、カレーづくりの頃にはチーム関係なく大騒ぎの様子でした。サッカーが創り出す深い友情を見ることができた2日間でした。

(佐藤健吾)



仙台YMCAバザー報告

6月10日(日)、立町会館にて『YMCAバザー』が開催されました。今年度は気温が低く雨の中での開催となりました。オープニングは『あいあい』の皆様によるすずめ踊りを予定していましたが、中止とし早くから来場を待たれていた方々を予定より早く館内に誘導いたしました。バザー開始時間になると、4階ホールで実施される物品バザーは、例年通りたくさんの方々が賑わいを見せていました。



園庭で行われた模擬店は、天候に左右されるところがあり悪戦苦闘しているブースもありましたが、焼きそばや玉こんにゃく、フランクフルトなどはお昼頃に完売し、来場された方は美味しい食べ物に舌鼓を打っていました。中でも、ひととき行列を作っていたのが『綿あめ』のコーナーでした。傘を手に持ちながら多くの子どもたちが心待ちにしている様子が伺えました。



1階の玄関では、YMCA幼稚園の子どもたちが手作りキャンドルを販売し、大きな声でお客さんをお呼び込む姿が微笑ましかったです。各階で専門学校・保育園・児童館の職員、専門学校の学生、ボランティアリーダーが趣向を凝らした模擬店を行い、来場者の笑顔が溢れていました。生憎の天気ではありましたが、このような活気のあるバザーが開催できたのも物品を寄贈して下さった沢山の皆様、会員の皆様、運営にご協力いただいたボランティア、スタッフの皆様の温かいご協力があったからです。今回のバザーの益金はYMCAの活動を通して

- ・児童養護施設の子どもたちの支援
- ・障がいのある子どもたちの支援
- ・子どもたちの健全育成活動を支えるボランティア育成支援に用いられます。

皆様ご協力誠にありがとうございました。来年も仙台YMCAバザーが開催される際は皆様の温かいご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。
(担当/増山和憲)

【協賛・協力団体】

(株)岩手ホテル&リゾート安比高原、イワタニ東北(株)、中村漁業部、有限会社大井青果、UNIQUE FISH CLUB、コーヒーロードウーラス、日本製粉労働組合、コスモフーズ株式会社、株式会社伊藤園仙台支店、大西キャベツ農園、仙台キリンビバレッジサービス(株)、(株)ジャパンビバレッジ東北仙台支店、司法書士佐藤弘章事務所、宮城県青年司法書士会、(株)ワールドトラベル、ローソン立町店、ローソン大町2丁目店、けやき会計事務所税理士事務所、(株)KauriForest、丸進機械工業(株)、(株)紀州ネゴロフーズ、(株)ジャパンエニックス (順不同、敬称略)

【ボランティア協力者】

宮城県青年司法書士会、仙台YMCA幼稚園園児・保護者の皆様、仙台ワイズメンズクラブ・メネット、仙台青葉城ワイズメンズクラブ・メネット、仙台広瀬川ワイズメンズクラブ・メネット、石巻広域ワイズメンズクラブ、佐竹豆腐店、有限会社親愛社、YMCA山岳会、仙台YMCAユースボランティアリーダー会、Y-CAT・アフタースクールポップクラブの子どもたち、富沢児童館ジュニアボランティア「トミザワイレブン」の子どもたち、西山児童館ジュニアボランティア「ニシヤマセブン」の子どもたち、西山児童館「児童クラブ子どもボランティア」の子どもたち、富谷市児童クラブの子どもたち、仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校、仙台YMCA職員 (順不同、敬称略)

「キリスト教理解」講座 第19回 「ペンテコステに十戒を」

日本基督教団 石巻栄光教会
牧師 川上直哉

1. 苦勞と幸せ

「天国」とはどんなところでしょうか。苦しみ・悲しみのないところ、とイメージされるかもしれませんが。高畑勲監督のアニメーション映画「かぐや姫」は、そうしたイメージに意地悪な批判をするものとなっています。「三保の松原」で捕らわれた天女が、天上界での記憶を取り戻して去っていく。その際、この地上での憂いはすべて忘却される。それと一緒に、子どもと夫との苦勞も全て、忘却する。その悲しさと切なさ、かぐや姫の悲劇を生み出す・・・というのが、このアニメーション映画の基本の筋立てなのです。

石巻で「苦勞を取り戻す」という運動が起きています。石巻広域ワイズメンの大林健太郎さんが進めている「べてるの風」の運動です。知的・精神的障壁と共に生きる人に、あるいは世間は「優しく」保護の手を差し伸べる。でも、それは時に病気を昂進させることもある。むしろ「苦勞を取り戻し」、地域に参画して復興を共に担うことで、誇りを取り戻し、元気に病気と一緒に生きていけるかもしれない。そんな運動が興っています。

「苦樂」は、裏腹なものなのかもしれません。苦勞の大きい分、獲得される喜びも大きい。世界中に「収穫祭」というものがありますが、それは、そうした「苦樂を共にする」幸せを表現しているように思われます。

春の終わりに「麦秋」という季節があります。旧約聖書の(そしてユダヤ教の)世界では、この時期に麦の収穫祭を行います。春分の日を過ぎた頃に「過越祭」を行い、そしてその日から「1オメル(2.3リットル)の麦」を50日間、神殿に奉納する。その50日は、祝祭の日々となるのです。例えばそうした収穫祭は、幸せが苦しみを飲み込む喜びを表現している、ということになるのだと思います。

2. 聖書の語る「天国」

聖書の「天国」の場所とはどこでしょうか。イエス様は、「貧しき憂い・生きる悩み」を共にするところに「神様の居場所」を見つけ、そしてそこに「天国」を見ました。イエス様は、苦しみから逃避して引きこもる類の「天国」を否定し、苦しみをすらすら幸せの一部にしてしまう「天国」を語る。それが、イエス様の教えになっています。

イエス様は、この教えを具体的なデモンストレーションで表現しました。「過ぎ越しの祭り」の時に十字架の事件が起こるように運動を組み立て、そしてそれをやり切ったのです。そして、麦秋の収穫祭の最初の日に、復活をなされた。それで、最初のキリスト者たちは、イエス様を「初穂としてよみがえった」と言い交わしました。そこから「Per Crucem Ad Lucem=十字架ヲ通ツテ光ヘ」という、古い教会の格言が生まれました。苦勞や破れ、痛みや欠損をこそ、神様の栄光の場所とする。そういう救いのあることを、イエス様は体現なさったのです。

3. 新約聖書と旧約聖書の「シャヴオット=ペンテコステ」

そのイエス様の復活の出来事は、収穫感謝祭の最初の日でした。感謝祭は50日続きます。毎年、そのフィナーレに「シャヴオット」と呼ばれるお祭りが行われました。イエス様が十字架で惨殺された後の最初のシャヴオットの日、ある特別な出来事が起きたと、聖書は語ります。その出来事を「ペンテコステ」と言います。教会が、この日に立ち上がったのです。すべての人が神の子として生きる共同体の形成が、この日、始まったのです。

もともと、シャヴオットの日には「十戒」をみんなで確認することになっていました。奴隷状態を脱して自由を得た解放奴隷たちが、「奴隷のいない共和国」を作り出すために、憲法にあたる基本法を神様から授かった。それが「十戒」の謂れです。「奴隷」とはそもそも「使い捨てにされる人」のことです。誰も使い捨てにしない国を作る。そんな国は、歴史上どこにも存在しませんでした。だから、それを作り出す。そのための基礎が、十戒です。ペンテコステは、その十戒の記念日にあたります。つまり教会の形成とは、十戒が目指した壮大なプロジェクトを継承し拡大したものとして、今も模索の裡に切り拓き進められているものなのです。

仙台YMCAミュージックプレゼント ジャズの調べ トーク&LIVE

6月20日、午後7時からYMCAホールにて、「仙台YMCAミュージックプレゼント ジャズの調べ トーク&LIVE」が開催されました。このプログラムは仙台YMCAの菅野健会長が中心となって実現したプログラムです。演目は、初めて聴くものや、島崎藤村の「椰子の実」を様々な技法で演奏していただき、ジャズの奥深さ、楽しさなどを初めてジャズを聴く人にも分かり易くトークを交えて伝えていただきました。4名の演奏者の皆様に感謝するとともに、今後もジャズを含め、様々なジャンルの音楽を聴けるプログラムを提供していければと考えています。(本部/小幡忠弘)



演奏者:名雪祥代さん(サクソ) 谷川賢作さん(ピアノ) 小美濃悠太さん(コントラバス) 橋本学さん(ドラム)

第24回仙台YMCA インターナショナル・チャリティーラン2018

今年度も、以下の日程でチャリティーランを行います。チャリティーランは、心身に障がいのある子どもたちを支援し、同時にこの活動を通して「真に豊かな社会」への関心が高まることを願うものです。収益金は、全額YMCAが実施している障がい児プログラムの支援金として用いられます。趣旨をご理解いただき、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

(担当/金谷三平)

日 程 9月23日(日・祝)
競技受付開始 9:00~
開会式開始 10:00~
終了 15:00
会 場 東北学院大学泉キャンパス



実行委員長 井上 勇二郎
仙台青葉城ワイズメンズクラブ

第24回仙台YMCAインターナショナル・チャリティーランが今年も爽やかな青空のもと、開催されます。大会に先立ち、今大会の実行委員長としてご挨拶させていただきますこと、感謝申し上げます。仙台YMCAチャリティーランは東京32回、名古屋25回に次ぎ、仙台、大阪24回と全国でも歴史ある大会となっております。全国実行委員長、有森裕子さんをはじめ、大会会長のさとう宗幸さん、毎年あたたかいご支援を頂く企業、個人の皆様、やさしさあふれる運営スタッフ、ボランティアの皆様、元気よく力強く駆けぬけるランナーの皆様、一生懸命熱い声援で応援してくださるご家族、友人の皆様、参加者全員が、タスキを繋ぎひとつの輪をつくる。今年もそのような大会になればと願い、実行委員会が立ち上がりました。参加される皆様がチャリティーランを通じ、助け合える、誰かが「みつかる」、タスキで「つながる」、そして「よくなっていく」。YMCAのスローガンのもと大会を盛り上げるような企画、安全な大会運営ができるよう実行委員一丸となり取り組んでまいります。

大会運営で得られた収益金は全額YMCAの行う、障害のある子どもたちのプログラムへ支援されます。どうか「障害のある子どもたちも、そうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会をめざす。」大会趣旨にご賛同いただき、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。第24回仙台YMCAインターナショナル・チャリティーランでつくる、皆様のタスキの輪が世界の平和のタスキの輪につながっていただけるように願います。

《一般会員》
(2018年6月1日~6月30日)

維持会員

維持会費によるお支えに心より感謝いたします。

A会員/10,000円 B会員/20,000円

C会員/30,000円

継続A会員

加藤重雄 加藤真子 菊地幸子
中川典幸 涌澤 博 松本京子
荒川幸子 尾木進一 尾木美恵子
小野寺孝子 中山 仁 稲本敬夫
横倉 純 長谷川美津子 清水川昌宣
継続B会員 新子元子 菊地弘生

法人会員

A会員/10,000円 B会員/ 30,000円

C会員/50,000円 D会員/100,000円

B継続会員

(有)新生ホンダ販売

(有)けやき会計事務所

パートナー会員

A会員/ 5,000円 B会員/10,000円

C会員/ 15,000円

《協力会員》

サポート会員

A会員/ 1,000円 B会員/ 3,000円

第21回仙台YMCA チャリティゴルフご案内

日 程 10月18日(木)
会 場 泉国際ゴルフ倶楽部
仙台市泉区根白石字花輪山1
定 員 112名(28組)
参加費 4,000円(プレー代別)
みなさまの参加をお待ちしております。
(担当/山野克俊)

東日本大震災支援対策室 《7・8月の活動予定》

- 「みやま荘夏祭り」(7月29日(日))山元町特別養護老人ホームにて「そうめん屋台」協力
- 「横浜YMCAハンドベル演奏ツアー」(8月25日~26日)
- 25日は 石巻市蛇田地区復興住宅にて
- 26日は 塩釜市にて 横浜YMCAハンドベル演奏が行われます(黒田 敦)

仙台YMCAでは維持会費でYMCAを支えていただける会員を随時募集しております。

お問合せ 本部事務局
TEL:022-222-7634
FAX:022-222-2952

YMCAジュニアクラブ 夏プログラム

《キャンプ》

申込受付中!!

	クラス	日 程	キャンプ地	対 象	ディレクター	定 員	巡回バス
海 キ ャ ン プ	島の冒険 キャンプ	8月20日(月)~8月22日(水) 2泊3日	石巻網地島 島の楽校	小学1年生~ 中学3年生	斎藤 勉	50名	泉方面
	幼児森の子 キャンプ	7月23日(月)~7月24日(火) 1泊2日	国立花山青少年自然の家	年少~年長	鈴木陽子	40名	泉方面
山 キ ャ ン プ	花山自然 キャンプ	7月29日(日)~7月31日(火) 2泊3日	国立花山青少年自然の家	小学1年生~ 小学6年生	増山和憲	30名	泉方面
	ZAOファミリー キャンプ	8月4日(土)~8月5日(日) 1泊2日	ロッジZAOドッコ沼	年少~大人 2名以上のご家族 高校生以下のお子様 だけのご参加は出来 ません。	堀越祥浩	25名	なし
	安比ネイチャリング キャンプ	8月5日(日)~8月7日(火) 2泊3日	安比ヒルズ白樺の森	小学1年生~ 中学3年生	黒田 敦	50名	泉方面
	秋保二口 キャンプI期	8月11日(土)~8月12日(日) 1泊2日	二口キャンプ場	小学1年生~ 小学6年生	糟谷昌洋	30名	泉方面
	秋保二口 キャンプII期	8月18日(土)~8月19日(日) 1泊2日	二口キャンプ場	小学1年生~ 小学6年生	増山和憲	30名	泉方面
	カスタマイズ キャンプ	8月22日(水)~8月24日(金) 2泊3日	国立花山青少年自然の家	小学1年生~ 小学6年生	土橋敬太	30名	泉方面
	サッカー キャンプ	8月8日(水)~8月10日(金) 2泊3日	大崎市田尻 公園の中の宿ロマン館	小学1年生~ 小学6年生	佐藤健吾	30名	泉方面

※海の子キャンプ、サッカーきつぷキャンプは好評につき締め切りとなりました。